

♪走る街を見下ろして のんびり雲が泳いでく／誰にも言えないことは どうすりゃいいの？ おしえて／急ぐ人にあやつられ 右も左も同じ顔／寄り道なんかしてたら 置いてかれるよ すぐに／嘘でごまかして 過ごしてしまえば／たのみもしないのに 同じ様な朝が来る／走る街を見下ろして のんびり雲が泳いでく／だから歩いて帰ろう 今日歩いて帰ろう♪

(斉藤 和義 作詞・作曲『歩いて帰ろう』より一部抜粋)

(若い時にこそ、自分に負荷をかけよ)

3月17日(木)、空は晴れ、平塚中等第7回歩行大会が行われた。1年～5年次全員が伊勢原・大山方面に向かって1日歩いた、歩いた。

自然と触れ合いながら“たくさん歩く”の基本行動で、忍耐力、克己心、集団行動での協調性を培い、自己体力の限界に挑戦することがねらいた。



5年は、大山阿夫利神社コース。(学校～岡崎～千津公園～山王中学校横～石倉神社～大山小～(大山ケーブル)～大山阿夫利神社下社神殿(昼食)～同じコースの帰路)。コースは31kmだが標高800mへの挑戦だった。

3年・4年は、31kmの自然環境保全センターコース(学校～岡崎～千津公園～山王中学横～高部小～諏訪神社～自然環境保全センター(昼食)～玉川小～小野橋～玉川球場～アマダ～浄心寺～向上高校前～太田小～下谷～城島公民館～学校)。



1・2年は、23kmの丸山城址公園コース(学校～岡崎～千津公園～板戸交差点～丸山城址公園(昼食)～向上高校前～太田小～下谷～豊田本郷～学校)。

校長は、1・2年生の成長の様子と一緒に確かめようと、23kmの丸山城址公園コースに挑戦した。片道約12km、2時間30分で丸山城址公園に到着した。ようやく着いたという生徒もいたが、元気もりもりで駆け回る生徒も沢山いた。(さて、小学生問題クイズ。校長は1時間に約何km歩いたでしょうか。また、1km歩くのに、約何分かかったでしょうか。)



歩きながら2年の男子生徒に『去年より体力着いた?』とインタビューしたら、『1年の時より楽な感じがする』と返ってきたので、1年間の体力づくりの効果があったんだなあ実感。4年次生はどうかと、帰り道で合流した女子生徒に同じように投げかけたら、『毎年苦しい!』と返ってきた。4年は去年も同じ距離を踏破していたはずだが・・・。



帰着すると、PTAの保護者の方の作ったご褒美の豚汁を美味しそうに頂いていた。そういえば、丸山城址公園で『お昼いっぱい食べちゃった。でも、豚汁は別腹!』と2年生の女子生徒が話していたなあ。

行きよりも帰り道が長かった感じがする。足の裏も少し痛いし、でもゴールするには一歩一歩自分の足で歩くしかない。新幹線も電車もない例えば江戸時代にも生まれ、関西方面の研修旅行があったら、みんな喜んで行っただろうか?なんて歩き考えたり。

日本橋(東京)を起点として、三条大橋(京都)が終点になる東海道五十三次(全区間496km、53力所の宿場)。日本橋から平塚宿までは16里(62.8km)なので、3～5年次生は、日本橋～平塚の半分を1日で踏破したことになる。今後もし大災害があっても、2日歩いて頑張れば、東京から平塚まで辿りつけるのだ。記憶に留めておこう!それと“おにぎり1個は4km分”も。では、質問です。歩行大会の1日30kmのペースで歩くとすると、日本橋から京都に何日に到着しますか?おにぎりは何個必要?ちなみに、当時の飛脚はわずか3～4日で走ったそうだ!

お昼の丸山城址公園で写真を撮っていると、あるクラス担任から、この生徒ったら『なぜ歩くんですか?』って言うんですよ、という声があった。

皆さんだったら、何と応えてあげるのでしょうか。(校長の応えは、歩行大会冊子にあり)

歩き納めだった。 平塚中等 校長 鈴木 靖